

2. ICT 機器の活用例 重点3

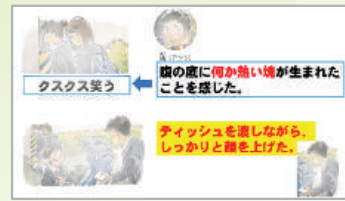
- ICT を模索する
- 取捨選択して使う
- 意図的な使い方

データ分析機能



- ◇生徒の考えの傾向が瞬時にわかる。
- ◇アンケート結果を視覚的・感覚的につかむことができる。

スライド機能



- ◇資料提示や教材の内容把握に有効。
- ◇視覚で内容を整理し、時間を有効活用できる。

付箋機能



- ◇思考の拡散・類型化に有効。
- ◇キーワードを基にした話し合いにつながる。

3. 成果と課題

》11月生徒アンケート

- 道徳の授業の初めと終わりで、自分の考えが変わったり深まったりする。 86.8%
- 4月から比べて、自分は成長できた。 88.3%

- ・4月のときよりも、積極的に自分の意見を言えるようになった。・これからしたいことや心がけたいことを考えるようになった。
- ・いろいろな考えを聞いて自分も考えさせられることが増えた。・自分の意見と友だちの意見を比べることができるようになった。
- ・相手の視点に立って物事を考えられるようになった。・自分を見直せるようになった。

成果

- ◇「視点広がる」タイミングと「考えが自分の中に落ちていく」タイミングを意識した授業づくりに変わった。
- ◇生徒が多様な意見の中から自分の考えをより深めて考えるようになった。
- ◇他の意見を聞いたうえで自分の意見について考える生徒が増えた。
- ◇「何について」「何のために」交流するのかが明確になった。

課題

- ◆授業の山場を意識し、中心発問や深化発問での思考時間を保障する。
- ◆ICTのより効果的な活用を検討する。
- ◆生徒自身の成長を評価する視点を明確にする。

本校アドバイザー



岐阜聖徳学園大学教育学部
准教授 山田 真二 先生



- 示範授業 道徳概要
- 講義
- 授業実践 発問/授業作り
- 講義
- 授業実践 今後に向けて

研究主題

生徒が意欲的に学ぶ授業づくり

～生徒の考えを引き出す・つなげる・深める授業をめざして～



「考え、議論する道徳」の
授業の実現をめざす

- 発問の工夫
- 交流の場の工夫
- ICTの効果的な活用



かほく市立河北台中学校

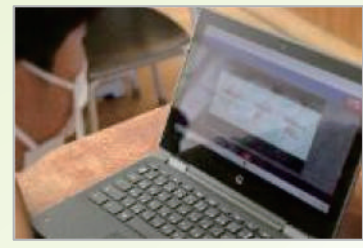
〒929-1173 かほく市遠塚口 47 番地 1

TEL 076-285-0262 | FAX 076-285-1483 | E-mail kahokudai-jh@school.city.kahoku.ishikawa.jp

1. 研究概要



- 価値からの導入
教材からの導入
- 問題意識を高める
- ・ ICT の活用
 - ・ 補助教材
視聴覚教材
 - ・ 各教科の既習事項
 - ・ アンケート結果 等



[B-(6)「名乗り出なかった友」 主題名:さりげない優しさ]

基本発問

中心発問へ向かう補完的な発問



【C-(13)「小さな工場の大きな仕事」 主題名:社会への貢献】

中心発問

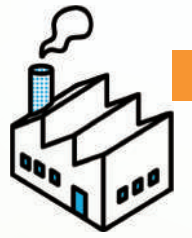
道徳的価値を追求する
きっかけとなる発問

一番考えさせたいことに時間をかける

- ・ 多面的な視点での話し合い

発問数を 1 つか 2 つに絞る

- ・ ワークシートはメモ
- ・ つぶやき OK



発問例

● 父の黒い手が誇らしく見えたのはなぜだろう？

【C-(13)「小さな工場の大きな仕事」 主題名:社会への貢献】

深化発問

道徳的価値を深めていく発問

生徒を揺さぶる発問

- ・ 生徒の既成概念にズレや戸惑い、葛藤を起こさせる
- ・ 多角的な視点での話し合い



- ・ 主人公以外の立場から
- ・ 異なる道徳的価値から
- ・ 補助教材の違う考えから
- ・ 少数派の意見をクローズアップ

● 僕の「カッコいい」の意味はどう変わったのだろうか？

振り返り

道徳的価値について自分自身を見つめる活動

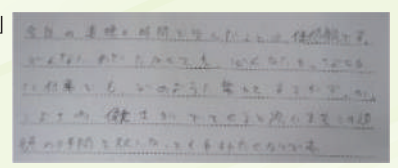
● メモと振り返りのみのワークシート



【C-(15)「ハイタッチがくれたもの」 主題名:私たちでつくる校風】



【C-(13)「小さな工場の大きな仕事」 主題名:社会への貢献】 振り返り



道徳的授業に取り組むためのシステム

1 》学年会を中心とした道徳の授業づくり

学年での指導案づくり

指導主事を招聘しての指導案検討

一年部

- 教材研究
- 授業の作り方を検討

二年部

- 複数の進め方を検討
- 模擬授業形式で検討

三年部

- 主題を深く検討
- 発問について検討

2 》ねらいに向かう話し合い活動の充実

重点2

- 目的を明確に
- 誰と交流するか

→ 一斉・グループ・ペア

目的

- 考えの糸口をもらう
- 自分の曖昧な考えを明確にする
- 考えを出し合い、共通点・相違点を見つける
- 新たな考えを導く

誰と

- となり同士のペア/前後のペア
- 座席の近いグループ
- 自分と考えが同じ人/違う人
- できるだけ多くの人



3 》家庭や地域への発信

- 各学年だよりでの発信
- 学級道徳通信の発行

● 道徳の掲示

● 授業参観



4 》校内研修会の充実

* 指導主事の招聘

1回目	4月	研究推進にあたって *
2回目	5月	山田准教授による示範授業
3回目	6月	提案授業と授業整理会 *
4回目	7月	各学年の提案授業
5回目	8月	山田准教授による研修 (発問・ICTの活用等) *
6回目	8月	学年による指導案検討会 *
7回目	9月	学年による指導案検討会 *
8回目	10月	発表会に向けた先行授業 *